

北海道日本ハムファイターズとの共同研究について

本学は2008年9月25日、北海道日本ハムファイターズと今後長期に渉り、共同研究等を進める産学連携の覚書を調印しました。調印式では、藤井社長は「球団運営の現場を通じ、中身のある研究にしたい」と述べられ、村山学長は「スポーツ産業を地域発展につなげる場としたい」と述べました。



調印後握手を交わす藤井社長（左）と本学の村山学長

地域振興につながるスポーツ産業のあり方を探る

研究内容としては、球場でのアンケートなどから北海道日本ハムファイターズのファン
の特性などを分析し、強固なファン基盤を確立するための手法を模索します。本学とし
ましては、来春開講するスポーツ人間学部を中心に、インターン学生の派遣や球団から
の講師派遣を通じて、実践的なスポーツ産業市場の研究、学生の実践的な教育を進
める予定です。

今後は、両者でコミュニケーションを重ねながら、成果のある研究をつづけ、ス
ポーツ産業を通じた地域社会の活性化、さらには日本のスポーツ産業界の発展に寄
与していくことを目指します。